

新年を迎えて

せたな町議会議長

真柄 克紀

輝かしい新年を心よりお慶び申し上げます。

町民の皆様には、今年が心豊かな希望に満ちた一年でありますように心より願うものであります。

昨年を顧みますと、国においては政権交代から2年あまり、3月11日の東日本大震災の後は特に国のエネルギー構造・産業構造・国と地方の関係等について、世界的な価値観の変化の中で、この国難に対するブランドデザインは今もって明確にされていません。

年末にかけて議論されているPPPを始めとする様々な政策課題について、重大な関心を持って見守っていく一年になると思います。

自らが住み・通い・働く地域のブランドデザインを、皆様と

共に描いていく努力の必要性を、増々重く感じているところです。

町内においては、5月に光ファイバー回線による情報の高度化・高速化による通信インフラの整備、9月には皆様の深い理解のもと「財政非常事態宣言」を解除、春の天候不順を克服した農作物の豊作、サケ等の豊漁等明るい話題がございました。

昨年4月の町議会議員選挙から8ヶ月にわたり、12名の議員が皆様の付託に応えるべくそれぞれに多くの仕事をさせていただきました。

本年も町民皆様のあいだに在る多種多様な課題や、様々な意見を町政に反映させるため、審議過程において地域と住民のニーズに応える政策課題を鮮明にさせ、公開の審議を通して広

く皆様にお知らせできる「討論の場」として、議事機関としての特色を示せるよう議会として努力を重ねてまいります。

小さな町の特徴ある住みよい町づくりに向けて、町民の皆様と共に議会も一丸となって取り組んでいく所存ですので、ご理解とご指導を重ねてお願い申し上げます。

「明るい日と書いて、明日と読むんだよ」こんな毎朝を元気にする名言がございます。

今年が町民皆様にとって希望に満ちた明るい一年でありますよう心よりご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。



未来を担う子どもたちのために

せたな町教育委員会教育長

高野 利廣

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお祝いを申し上げます。

また、皆様には、日頃から本町教育の振興に多大なご支援、ご理解を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年一年間の教育行政をふり返ってみますと、学校教育の分野では、小学校における新学習指導要領の本格実施が開始されましたが、各校では移行期間の諸準備をもとに順調なスタートを切ることでできました。また、中学校においても平成24年度からの新学習指導要領実施に向け、各種計画の整備をはじめとする教育課程編成の最終作業を進めているところで

す。「確かな学力」の取組につきましては、例年4月実施の全国学力・学習状況調査が9月末実施となったため、各校では町独自の標準学力検査結果の分析やチャレンジテストの活用を図るなどして、基礎・基本の定着と応用力を伸ばすための取組を進めているところで、教育委員会としても、教職員の資質向上、授業改善の方策を推進するとともに、家庭での生活・学習

習慣の見直しをめぐした「4つの提言」の拡充や、「家庭学習」の定着のための取組を継続してまいります。

「健やかな体」の育成につきましては、全国体力・運動能力調査結果を活用した運動習慣の実践、家庭と連携した「食育」の推進や「生活リズム」の確立等に向けた取組を今後とも継続してまいります。

「豊かな心」の醸成につきましては、道徳指導の充実及びいじめ・不登校等への対応に重点を置いて進めてきました。道徳の時間の充実と公開、いじめ防止「教職員ガイドライン」の研修、「いじめ防止強化月間」(10月12月)の推進、不登校等「学校不応対策指導資料」の発行、「いじめ・不登校等対策協議会」の開催等、各学校での指導強化に努めてまいりましたが、今後も継続して取り組んでまいります。

施設面につきましては、安全・安心な教育環境実現のため、学校施設耐震診断の結果を受け、順次整備を進めております。このことに関わって、久遠小学校及び大成中学校を旧大成中学校校舎及び旧大成高校校舎へと、それぞれ移転をいたしました。学校適正配置につきましては、

近年、本町においても少子化が加速してきていることから、今後の適正なあり方について、各地区での検討を継続してまいります。平田内小学校と島歌小学校につきましては、両地区懇談会等を経ながら、「平成23年度末を以て閉校・統合したい」との要望書があがり、教育委員会としても今年度末を以て閉校という決定をするに至りました。

また、瀬棚商業高校の生徒募集停止に伴い、檜山北高校への通学バス補助について、諸々の関わりを考慮しながら進めてまいります。

社会教育の分野では、特色ある生涯学習講座やスポーツ教室などの計画的な実施に努めながら、高齢者大学など社会教育団体やスポーツ団体、国際交流事業の活動に対し引き続き支援してまいります。

また、地域が学校を支える取組として定着しつつあります学校支援事業や、昨年度から始まりましたブックスタート事業につきましては、ボランティアの皆さんの協力のもと一層の充実に努めてまいります。

さらに、芸術文化の鑑賞機会として文化講演会などを開催したいと考えておりますので、ご期待ください。

今後とも、第一次せたな町教育推進計画(平成22～26年度)に基づき、中・長期的展望を見据えながら、21世紀を担うせたな町の児童生徒の教育、及び心豊かに生活できる生涯学習の町づくりに鋭意努めてまいります。

町民の皆様におかれましては、これまで以上にご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、昨年の東日本大震災を乗り越え、今年一年が幸多き年になりますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

